

“リニア時代の社会”に対応するための新たなまちづくり

“リニア時代の社会” に対応したまちの姿

- 感染症を始めとする複雑で不確実な時代への対応、SDGs（誰一人取り残さない社会等）の実現などの**社会変容に対応する**
- リニア開業により三大都市圏が一体化する“スーパー・メガリージョン”の中で、**甲府市や甲府圏域が存在感を発揮する**

まちづくりの 課題

- 一人ひとりの多様な価値観やライフスタイル（暮らす・働く）を実現できる**“場所の選択肢”を増やす必要性**
- スーパー・メガリージョンの中で**甲府市や甲府圏域の“個性”を輝かせる必要性**

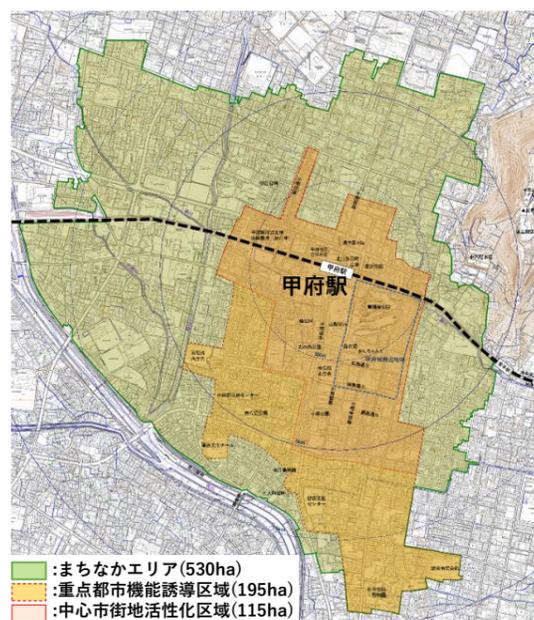
まちづくりの 目標

2つの個性の異なる“広域拠点（甲府駅周辺、リニア駅周辺）”を核としたまちづくりを進め、スーパー・メガリージョンをけん引し、国内外から選ばれる甲府市・甲府圏域づくりを目指す

まちづくりの 戦略

2つの広域拠点が有する特徴や強みを最大化し、連携／相互補完させることで、甲府独自の個性を伸ばし、スーパー・メガリージョンをけん引する

甲府駅周辺【広域都市拠点】



<甲府駅周辺の主な特徴>

- 山梨県の政治・経済・文化をけん引する拠点として、事務所、店舗、住居、公共施設等の都市機能が集積
- 開府500年で培われた“都市空間”とそれにより育まれた“人”と“文化”（都市ストックの存在）
- 空き家・空き店舗など都市機能が低下しつつあるが、県随一の“まち”として、現在でも交流の場として機能

連携／
相互補完

既存の都市空間や人、文化等の魅力をさらに高め
“新たな価値”を創造していく

リニア駅周辺【広域交流拠点】



<リニア駅周辺の主な特徴>

- 現状、駅前エリアは優良農地
- 駅前ゼロベースで“新しいまちづくり”に取り組める
- 東京から最も近い「地方都市」
- 時間距離に比して、空間（場所）の違いのギャップが大きな魅力
- リニアと高規格道路の結節点
- 抜群のアクセス性により、“都会から自然までの多様な訪問先の選択肢”が生まれる

（リニア＋高速道路網）×開発ポテンシャルの高い土地
だからこそ実現可能な“特別な価値”を高めていく

まちづくりの戦略

リニア駅前の価値を最大化させる特色あるまちづくりを進め、本市や圏域に開業効果を最大限波及させるとともに、リニア駅周辺の地域課題の解決を図る。

リニア駅前のまちづくりの方向性（案）

① “近未来の産業、暮らし”を社会実装するまち

- ゼロベースで開発できる強みを活かし、産業や暮らしを豊かにする様々な最先端技術や知見の社会実験・実装に取り組み、近未来社会をけん引する先導的エリアづくりを目指す。
- これらの社会実装を通じて、暮らしの面では、一人ひとりが健康で楽しく過ごせる環境を実現するとともに、県内の既存産業の振興や新産業・近未来産業を育成し、本市や本圏域の新たな成長のエンジンとなることを目指す。
- 特に環境・エネルギー分野では、水素エネルギーや持続可能エネルギーなど次世代エネルギーを積極的に導入し、2050年のカーボンニュートラルの実現や、本県の新産業育成に取り組む。

② 誰もが目的地に“シームレス”に移動できるまち

- リニア駅北側の交通結節機能整備に加え、様々な次世代モビリティやMaaS等の近未来のサービスを組み合わせ、市内、県内など様々な目的地にシームレスに移動できる環境の実現を目指す。

③ 平常時も災害時も活躍する“フェーズフリー”なまち

- 平常時は賑わいや交流の促進、災害時には交通結節点の特徴を活かして駅利用者や地域住民への対応等、近未来（近い将来起こりうる）の災害や防災のあり方を見据えながら、日常時も災害時もその役割を十分発揮する空間整備を検討する。
- フェーズフリー：防災対策だけを目的とするのではなく、日常時に十分利用される空間整備。

官民連携でまちづくりに取り組む

※上記の内容は現時点での素案であり、今後、関係者との協議、検討の上、変更になる可能性があります。

リニア駅前で“近未来社会をけん引する先導的エリア”のイメージ



高質でゆとりある環境に配慮した空間



▲ゆとりある都市空間の例



▲自然エネルギーの積極導入の例

フェーズフリーの空間



▲浸水を想定した建物デザイン例



▲平常時は賑わい・交流の拠点に、災害時は防災機能に

新しい働き方の舞台となる空間



▲オフィス外で多様な刺激を受ける



▲平常時は賑わい・交流の拠点に、災害時は防災機能に

身近な農と食を感じる賑わいのある空間



▲大きな風景の中で動く



▲地元の食を楽しめる空間

次世代モビリティ、自動運転等が走る空間



▲自動でヒトやモノを運ぶモビリティ



▲グリーン水素で走る自動車